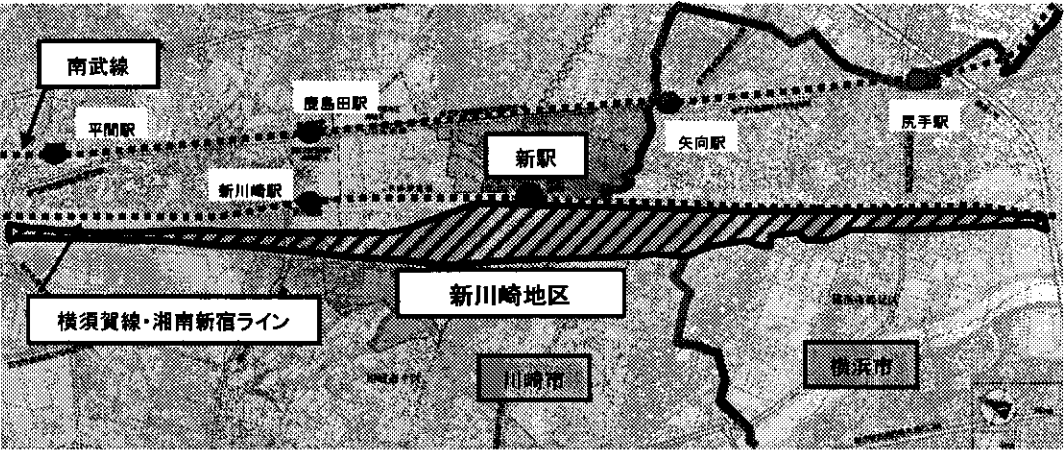


(その他)

平成15年度中止箇所 再評価結果

事業名	新川崎地区土地区画整理事業		都市名	神奈川県川崎市・横浜市	
施行者	都市基盤整備公団	施行面積	約46ha	事業採択	平成3年度予算採択
事業概要	旧国鉄操車場跡地を中心とする区域において、都市拠点形成に向けた機能更新（基盤整備事業）の実施により、都市・居住環境整備重点地域の都市構造再編に資する。				
再評価時の費用便益比	B/C=3.8	全体事業費	約297億円		
再評価指標項目例	<p>(1) 事業の必要性等</p> <ul style="list-style-type: none">・地区採択を要望した川崎市が新駅設置を前提とした土地区画整理事業を中止したことにより、本事業の必要性はなくなった。 (公共団体を主体とする何らかの基盤整備は必要と思料) <p>(2) 事業の進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none">・川崎市が、新駅設置を前提とした土地区画整理事業を中止としたため、事業進捗の見込みはない。・川崎市の事業中止の判断により、事業に必要な補助金の確保が困難。新駅を前提としなければ、投下事業費を回収可能な適正価格での保留地処分は困難 <p>(3) コスト縮減や代替案の可能性</p> <ul style="list-style-type: none">・地区採択を要望した川崎市による事業中止の措置であり、公団が行う土地区画整理事業の代替案はない。				
事業の進捗状況・事業採択時より再評価時までの周辺環境の変化等	<ul style="list-style-type: none">・川崎市は「行財政改革プラン」で平18年度以降に「財政再建団体転落」の危険性を表明・環境影響評価審議会の答申(平13.9)を得たが、「川崎市行財政改革プラン(平14.9)」発表により都市計画決定の準備作業が休止状態・川崎市は、行財政改革プランに基づき、新駅を前提とした区画整理事業を中止する旨公団及び横浜市に通知・横浜市は、川崎市からの通知を受け中止を了承 所有する宅地を有効活用する観点から公園、小学校等の公共公益施設整備を推進中・最大権利者日本鉄道建設公団は、閣議決定を踏まえ早期土地処分を推進しており、横浜市域側の用地1.8ha(2画地)を譲渡済				
今後の見通し	・川崎市が別途土地活用検討委員会を設置し、新駅設置を前提としない新たな開発手法等について検討中				
対応方針	事業中止				
事業概要図	 <p>The map shows the Shin-Kawasaki area with the proposed station location marked as '新駅' (New Station). It is situated between the '南武線' (Nambu Line) to the north and the '横須賀線・湘南新宿ライン' (Yokohama Line / Shonan-Shinjuku Line) to the south. Other stations shown include '平間駅' (Hirama Station), '新川崎駅' (Shin-Kawasaki Station), '唐島田駅' (Karakajima Station), '矢向駅' (Yamukai Station), and '尻手駅' (Shirahito Station). The map also indicates the boundaries of '新川崎地区' (Shin-Kawasaki Area), '川崎市' (Kawasaki City), and '横浜市' (Yokohama City).</p>				